

専門分野・成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	周術期看護 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	萱場健雄	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>手術は侵襲を伴う治療法である。手術後の経過により入院期間の延長や社会復帰への遅延、予後が左右される。患者・家族ともに治療に伴う不安や恐怖は大きく、看護師は全人的な患者理解に努め意思決定の支援をしている。本授業では周術期の患者に必要な看護について学ぶことをねらいとする。</p> <p><到達目標></p> <p>1. 周術期における患者の特性を理解し、手術過程に応じた看護を実施できる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. オリエンテーション	講義	
2回目	1. 術前看護	講義・演習	
3回目			
4回目	1. 術中看護 アセスメント	講義・演習	
5回目	1. 術直後 必要な看護を考える アセスメント 術直後観察	講義・演習	
6回目			
7回目			
8回目	1. 術後ベッド作成	演習	
9回目	1. 術直後の観察	演習	
10回目			
11回目	1. 術後 退院に向けて指導・教育 アセスメント 指導用具等作成	講義・演習	
12回目			
13回目	1. 退院指導の実践・評価	演習	
14回目	1. ガウンテクニック	演習	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	周術期看護は、3年次の成人・老年看護学実習Iにつながる授業である。学んだことを実習で活用できるよう、積極的に取り組んで欲しい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
参考書			